
チョコレートの形は...

ちい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チヨコレートの形は…

【Nコード】

N5345B

【作者名】

ちい

【あらすじ】

今日はバレンタイン・デー。理由はそれぞれだけど、みんなチヨコレートをもらうことを楽しみにしています。一緒に遊んでいた光彦と元太のところに、歩美がやって来たけれど……

(前書き)

2月14日ということを書いてみました。
勢いで書きちゃったので、あまり出来てない作品です。

「今日はバレンタインですねー。」

「俺、1回でいいからチョコに囲まれてみたいぜ。」

「もー、元太君は…。チョコがたくさんもらえればそれでいいんですか!？」

「あたりめーだろ!!光彦はどうなんだよ。」

「僕はやっぱり、たくさんもらうより好きな女の子だけからもらう方がうれしいですね。」

「いっぱいある方がいいに決まってるじゃねーか!！」

「そんなことはありませんよ。」

「あ、光彦君、元太君、こんなところにいたー!！」

「あ、歩美。」「歩美ちゃん。」

「どうしたんだよ。」

「光彦君と元太君のお家に電話したら、一緒に遊んでるって言ったから。」

「僕達に何か用ですか？」

「あ、あのね、歩美、チョコ作ったんだ。お母さんと一緒にだけどもらってくれる?」

「も、もちろん。」

「あたりめーだよ。俺チョコ食いてーからよ。」

「良かった!ー!はい、どうぞ!ー!」

「あ、ありがとうございます!ー!」

「やった。これで今日チョコが食えるぜ!ー!ありがとうございます。」

光彦のドキドキしたような浮かれた声。元太のチョコレートがもらえて、心からうれしそうな声。それを聞くと、歩美は安心したように言った。

「よろこんでもらえて良かったー。今度味の感想聞かせてね。それじゃ、歩美、行かなきゃいけないところあるから。ばいばい。」

「歩美ちゃん、用事って？」

「え、ちよ、ちよつとね。それじゃあね。」

「あ、はい…。それじゃあ。」

「じゃーな、歩美。チョコサンキュー。」

歩美は走って行った。光彦は少し寂しそうな顔で歩美を見ていた。

そして、それから自分が歩美にもらったチョココレートを見た。かわいい星型をしている。しかし、光彦は、歩美が走っていく前に見えてしまったのだ。

歩美のかばんの中にピンク色の包み紙できれいにラッピングされた袋が入っているのを。

それには、「コナン君へ」と書かれた紙が入っていた。

きっと歩美はコナンのところへ行ったのだろう。

きっとそのチョココレートの形は…。

いつか、自分がその形のチョココレートをもらえる日は来るのだろうか…。

(後書き)

本当に勢いです…。

光彦にかわいそうな想いさせちゃいました。ごめんね、みっちゃん。でも、私的には光彦&歩美は良いカップリングなので、いつかみっちゃんを幸せにしてあげます。

だから、光彦ファンの方、許してください!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5345b/>

チョコレートのは...

2010年12月14日20時40分発行